



香港フィルマート実施報告（ダイジェスト①）

■香港フィルマート（第19回目）

アジア最大規模のコンテンツマーケットであり、札幌市としては7度目の出展。

ブースパビリオン名を「REGIONS OF JAPAN」とし、地域連携を軸とした地域発コンテンツの海外発信を行った。

■開催期間

2015年3月23日(月)～3月26日(木)4日間

■参加団体

出展者数（全体）：30国以上・780社以上

バイヤー数（全体）：7,100名以上

■REGIONS OF JAPANとしての実績

出展地域：14地域

出展団体：46団体（自治体、フィルムコミッションを除く）

ブース平米：294㎡（会場内最大の占有面積）

スクリーニング数：14作品のスクリーニング上映

コンテンツ数：290作品

渡航者人数：113名

■特記事項

①北海道全局の参加

②日本政府関係機関も注目

在香港日本国総領事館 総領事 野田 仁氏

日本貿易振興機構（香港） 所長 小野村 拓志氏

経済産業省 商務情報政策局 文化情報関連産業課長 柏原 恭子氏

が来場、視察に訪れ日本政府関係機関も、「REGIONS OF JAPAN」の活動に大きな注目を持っていることが伺えた。

③震災復興PR

仙台、岩手、福島 of 東北3県の放送局が出展した。被災地を巡る紀行番組の作品を出品するなどし、震災復興へのアピールへの足掛かりとなった。